

# 2018 年度 事業計画書

---

2018 年 5 月 21 日

## 1. 2017年度の振り返り

今年度も、基幹事業である「児童養護施設への自転車寄贈事業」（以下自転車寄贈事業）は、JKA（競輪・オートレース振興法人）の補助事業（小学生向け）として認可を受けられたことにより、寄付施設数67施設、寄付台数144台とエリアの拡大・安定化を継続することが出来ました。

また、一昨年より開始した自転車教室に於いては5か所での開催を実現し、次年度へ向けJKA及び競輪選手会の賛同を更に得ることが出来ました。

今年度を終えて、寄贈先は40都道府県、529施設（87.9%）、台数は967台となり、全都道府県への寄贈まで残り7県、1,000台目の寄贈まで33台となっております。

「自立支援事業」としては、NPO法人ブリッジフォースマイルを通しての、児童養護施設の子どもたちへの、奨学金プログラム「カナエール」への支援をしてまいりましたが、「カナエール」自体一定の使命を終えたため、昨年度で終了となっております。

その他、支援団体先のイベント等で、一定額の募金者へピンバッジの進呈に加え、新たなノベルティとしてチャームを制作し、募金活動、募金促進の一助としました。

また、昨年度は広報活動を強化し、支援者の多い地域でのフリーペーパー掲載、交通広告、屋外看板の設置など、対外的なアピールも実施しました。

## 2. 2018年度の基本方針

今年度も、児童養護施設の子どもたちへの「自転車寄贈事業」と、「自立支援事業」を主な事業として実施して参ります。

「自転車寄贈事業」は、活動が評価され今年度もJKA補助事業として認定されたため、昨年度同様JKA補助事業を中心として実施いたします。

同時に広報活動、児童養護施設の現状調査なども認定されましたので、こちらも実施してまいります。

「自立支援事業」は、施設の子どもたちの約7割が進学せず就職する中で、環境の変化に馴染めず早期に退職してしまう例が多いことから、就業体験やビジネス研修などのサポートを行い、実績を上げているブリッジフォースマイルの就業支援活動に協力を実施する予定でおります。

また、その他団体等への支援も引き続き実施して参ります。

基金拡大のための施策として、財団の認知拡大を様々な媒体を活用して実施し、新たな支援者の拡大と寄付収入の獲得を行ってまいります。

以下に事業計画の概要を提示します。

### 3. 事業計画概要

#### 1) 自転車寄贈事業

2018 年度も、JKA 補助事業を中心に実施して参ります。

自転車教室については、競輪選手会などの関連団体等と協力の上、参加する子どもたちに喜ばれるよう 8 回の実施を目指すと同時に、要望のあった施設へ出向いての自転車教室も開催。同時にその模様をメディア等へ取り上げて頂けるよう積極的に働きかけ、掲載数の向上を図ります。

更に、自転車を寄贈した施設にアンケートを配布し、自転車の利用実態調査等を行い、一般的にはあまり知られていない児童養護施設の現状を、HP やリプレットレポート等で対外的にアピールし、社会の関心を集めるとともに財団の活動への理解を深められるよう努めます。

#### A. 既存（中高生向け）事業

未配布県を中心に全国 10 施設、中高生用自転車台数 20 台と設定します。（表 1 を参照）  
自転車購入単価は 25,000 円（送料防犯登録料含）とし、  
2018 年度既存事業自転車総購入費は 500,000 円となります。

表 1) 2018 年度 児童養護施設自転車寄贈予定（既存事業）

配布時期	施設数計	配布数計	配布予定エリア
第 1 回（6 月～7 月）	5 施設	10 台	富山、鳥取、徳島、 高知、愛媛、宮崎、 鹿児島
第 2 回（10 月～12 月）	5 施設	10 台	
合計	10 施設	20 台	

#### B. JKA 補助（小学生向け）事業

全国の施設対象、施設数 80 施設、小学生以下用自転車台数 200 台と設定します。

（表 2 を参照）

自転車購入単価は 25,000 円（送料防犯登録料含）とし、

2018 年度補助事業自転車総購入費は 5,000,000 円となります。

表 2) 2018 年度 児童養護施設自転車寄贈予定（JKA 補助事業）

配布時期	施設数計	配布数計
第 1 回（6 月～7 月）	15 施設	40 台
第 2 回（7 月～8 月）	15 施設	40 台
第 3 回（8 月～9 月）	15 施設	40 台
第 4 回（9 月～10 月）	15 施設	40 台
第 5 回（11 月～12 月）	20 施設	40 台
合計	80 施設	200 台

2) 児童養護施設の子どもたちへの自立支援事業

自立支援活動につきましては、NPO 法人ブリッジフォースマイルの就業支援活動への協力を実施して参ります。

3) その他団体への支援活動

これまで同様、財団の理念に合致する団体・法人等へ支援を行います。

4) 基金拡大のための施策

認知度向上及び寄付収入の獲得を目指し、2017 年度より開始した広報活動により注力し財団の認知度を高めて、支援団体、アソシエイトの活動のバックアップとして参ります。

更に、賛助会員及び支援企業の拡大を行うことで、収入の安定化に繋げてまいります。その他、2017 年度で終了した Gooddo に代わる寄付方法の策定を行い、新たな支援者の獲得へ繋げて参ります。

5) その他

JKA 事業費が大幅に増額されたため、以下についても実施を予定しております。

- ・施設へ出向いての自転車教室の開催（2～3ヶ所を予定）
- ・自転車教室へ施設が参加する際の資材運搬補助
- ・自転車教室運営備品の制作（スタッフウェア、ビックバナー等）
- ・施設実態アンケート調査
- ・広報活動の拡大